



オウム菊地容疑者逮捕

地下鉄サリン特別手配

相模原で身柄確保

警視庁



菊地直子容疑者



1995年3月20日、地下鉄サリン事件で、地下鉄日比谷線「築地駅」前の路上で手当てを受ける被害者



警視庁は3日、地下鉄サリン事件の殺人、同未遂容疑で特別手配していた元オウム真理教信者、菊地直子容疑者(40)を相

模原市内で発見し、身柄を確保した。警視庁に身柄を移し逮捕した。

菊地容疑者は、地下鉄でまかれたサリン製造に

関与したとされるほか、麻酔薬の密造事件でも指名手配されていた。都庁小包爆弾事件などへの関与も指摘されており、これらについても調べる。

菊地容疑者は、松本智津夫死刑囚(57)と教祖名・麻原彰晃らと共謀、1995年3月20日朝、東京都内の地下鉄3路線

5車両に猛毒のサリンをまいて、乗客11人を殺害、約5500人に重症を負わせた疑いが持たれている。

菊地容疑者はサリン製造に携わったとされる。菊地容疑者は、教義などに疑問を持つ信者へのイニシエーションや仮谷清志さん監禁致死事件などで自白剤として使われた麻酔薬チオペンタールを密造した薬事法違反容疑でも指名手配されていた。

オウム事件の特別手配地下鉄サリン事件や目黒公証役場事務長拉致事件で、警察庁は殺人容疑などで1995年にオウム真理教元信者の高橋克也と菊地直子、平田信の3容疑者を特別手配した。刑事訴訟法には共犯者の起訴から刑の確定まで時効が停止する規定が

あり、いずれの事件でも時効は成立していない。特別手配は、指名手配者のうち治安に重大な影響を及ぼし社会的危険性が高い者を指定し、早期逮捕のため全国の関係警察に専従班を置くことができる制度。平田容疑者は昨年12月31日夜、警視庁に出頭、逮捕された。